

## 主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

### 主要航路の荷動きのポイント

**北米航路** ※往航荷動き量は PIERS データの集計不具合のため、来月まとめて報告します。  
復航（2019年3月）647,121TEU（3.8%減）（2018年3月：672,670TEU）

・《中国向けは前年比 26.3%の大幅減、一方で韓国、台湾 ASEAN が増加》

- 2019年5月の中国(塩田)-ニューヨーク間の運賃は前年比 12.3%増の 2,280 ドル/TEU で 12 か月連続のプラス。
- 北米復航(米国からアジア)は、前年比 3.8%減で、2 か月連続のマイナス。2019年5月のニューヨーク-中国(塩田)間の運賃は前年比 23.1%増の 800 ドル/TEU で 11 か月連続のプラス。

**欧州航路** 往航（2019年4月）1,429,572TEU（13.0%増）（2018年3月：1,265,406TEU）

・《4月の荷動き量は、往復航共に統計開始以来、最高》

復航（2019年4月）725,188 TEU（24.2%増）（2018年4月：583,697TEU）

- 欧州往航(アジアから欧州)は前年比 13.0%増で 2 か月連続のプラス。2019年5月の中国(塩田)-英国(フェリックストウ)間の運賃は、前年比 5.4%増の 1,170 ドル/TEU で 3 か月連続のプラス。
- 欧州復航(欧州からアジア)は前年比 24.2%増で 4 か月連続のプラス。2019年5月の英国(フェリックストウ) - 中国(塩田)間の運賃は前年比 5.3%減の 900 ドル/TEU で 14 か月連続のマイナス。

**日中航路** 往航（2019年4月）868,069 トン（11.5%減）（2018年4月：980,860 トン）

・《4月の荷動き量は、統計開始以来、最低》

復航（2019年4月）1,896,920 トン（5.0%増）（2018年4月：1,806,960 トン）

- 日中往航(日本から中国)は、前年比 11.5%減で 2 か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比 4.3%減の 7,100 億円で 2 か月連続のマイナス。2019年5月の横浜-上海間の運賃は前年比 27.0%増の 470 ドル/TEU で 9 か月連続のプラス。
- 日中復航(中国から日本)は、前年比 5.0%増で 2 か月連続のプラス。金額ベースでは前年比 6.3%増の 1 兆 802 億円で 2 か月連続のプラス。2019年5月の上海発-横浜向の運賃は 640 ドル/TEU。

**アジア域内航路**（2019年4月）3,379,200 TEU（2.9%増）（2018年4月：3,284,400 TEU）

- CTS 社による集計では、前年比 2.9%増となる 338 万 TEU で 2 か月連続のプラス。2019年4月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比 10.6%増の 824 ドル/FEU で 5 か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数は Drewry, *Container Freight Rate Insight*, に基づく



図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

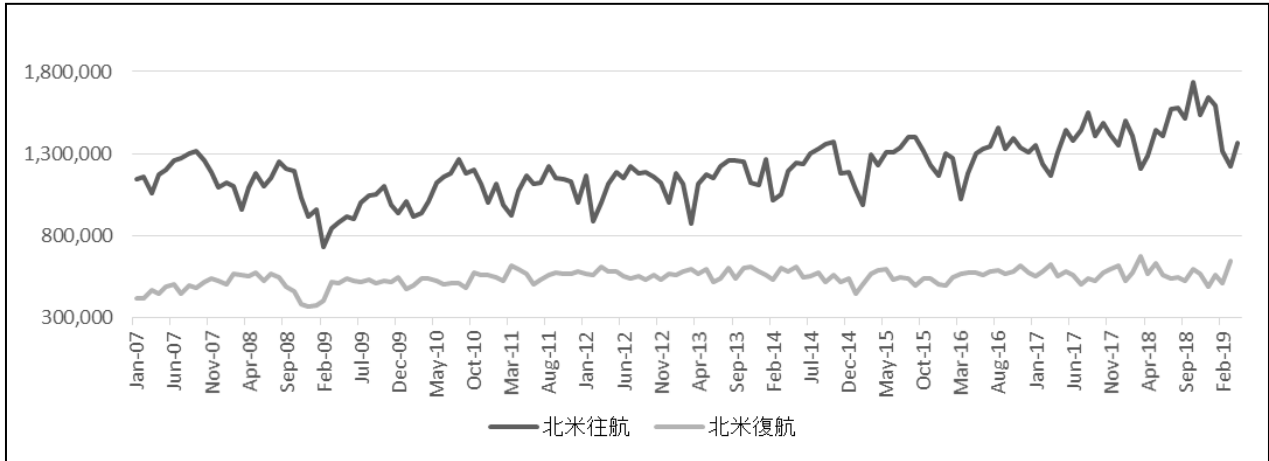


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

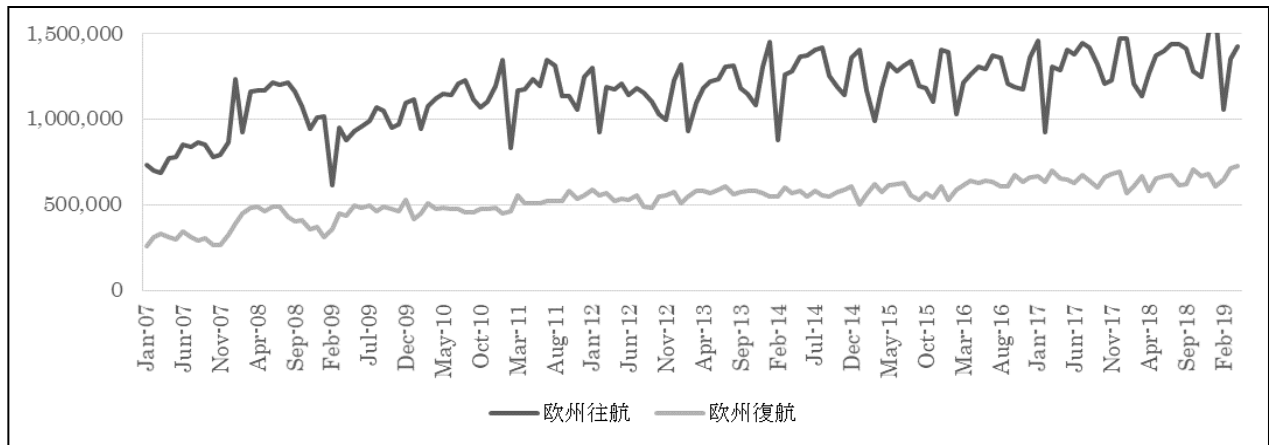


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

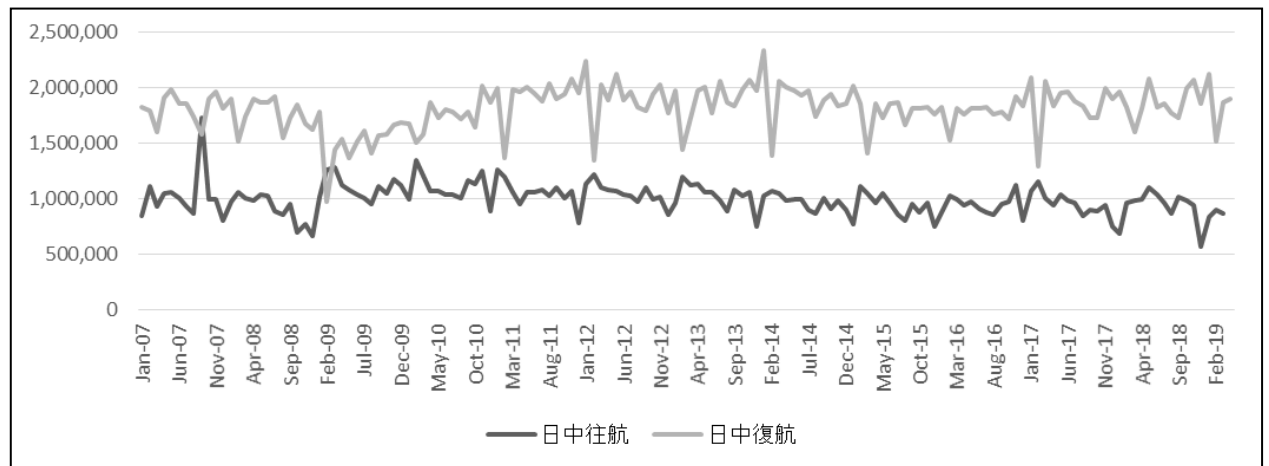


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

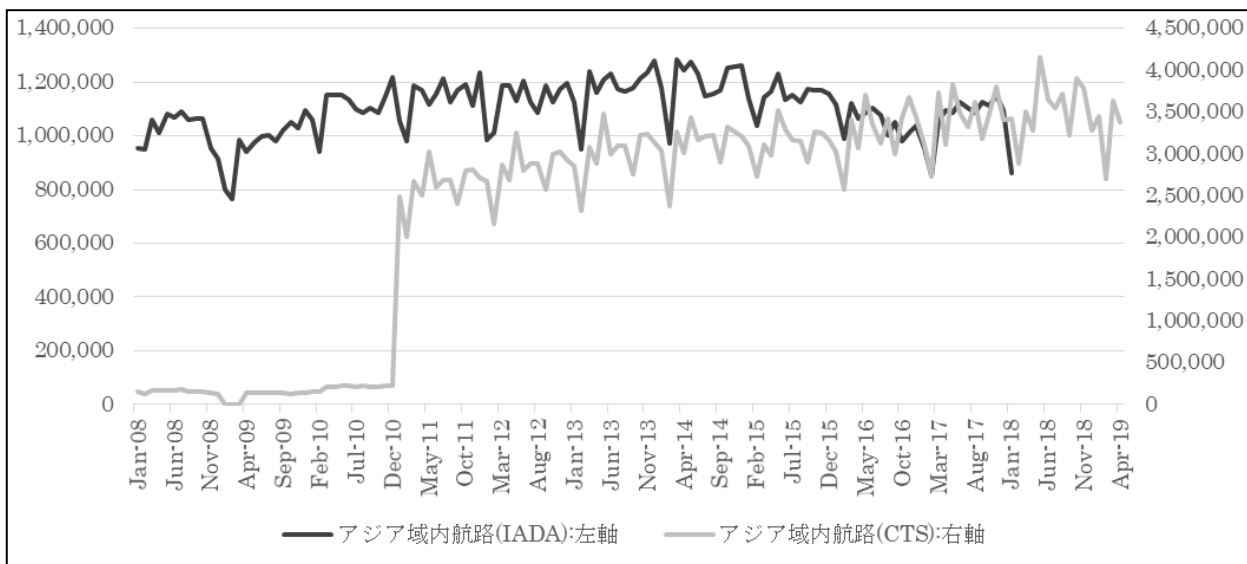


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

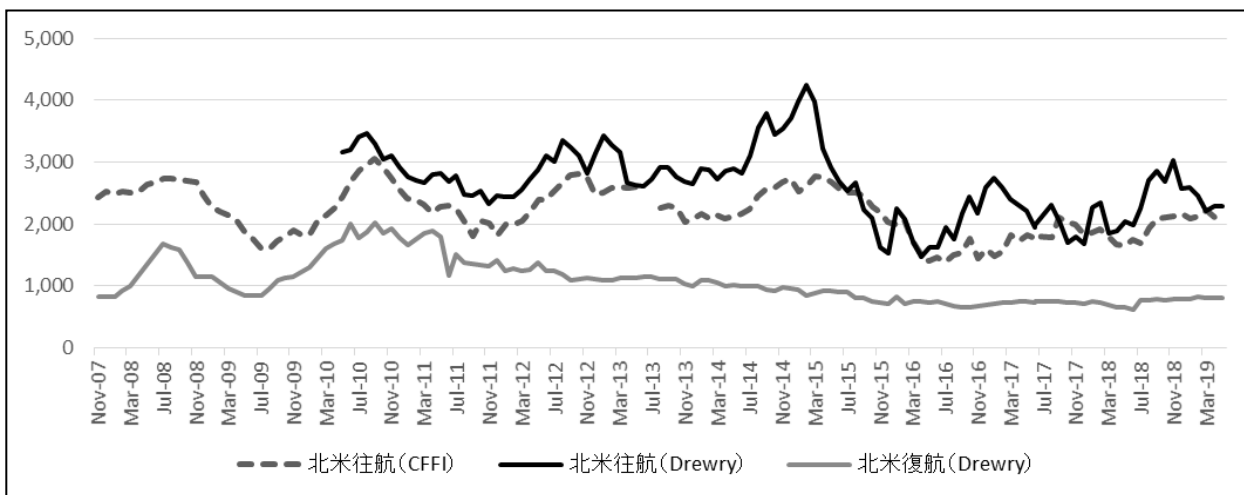


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

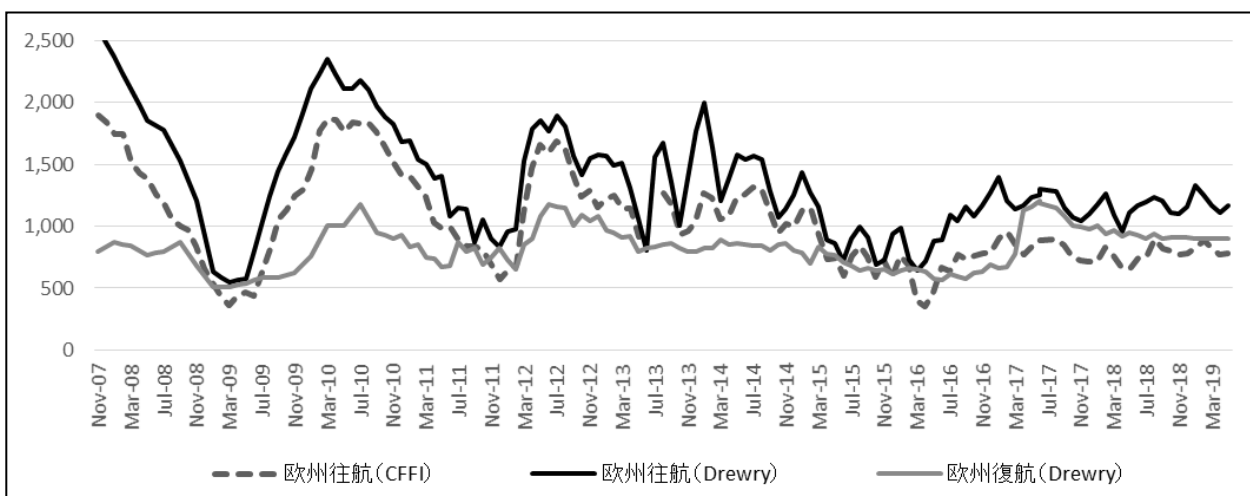
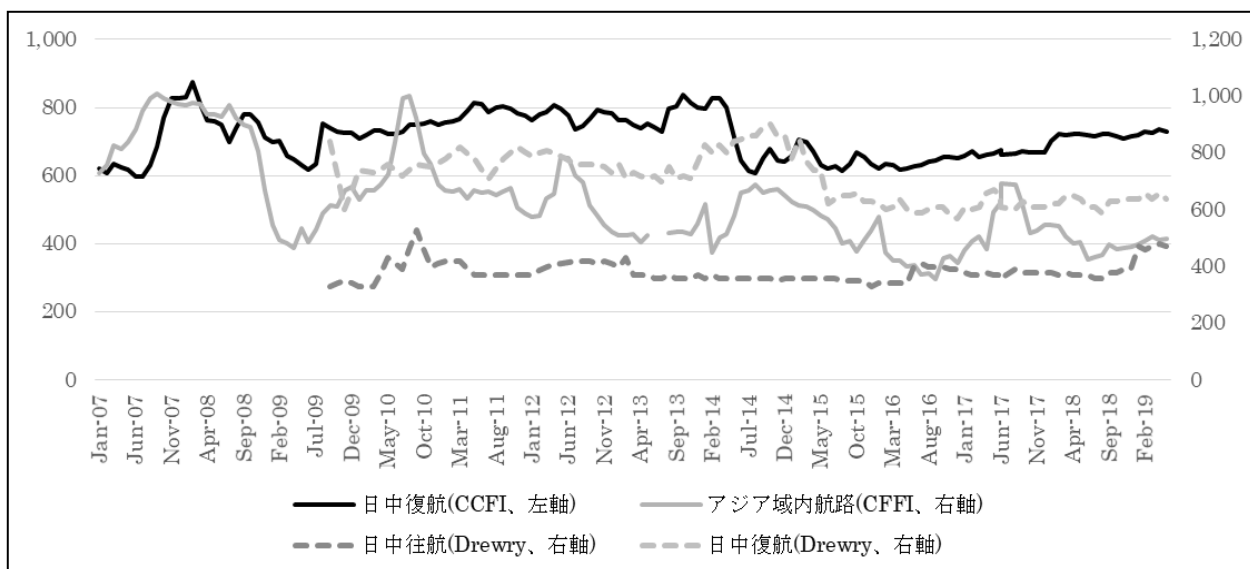


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 ( 単位 : 指数 ( 左軸 )、ドル/TEU ( 右軸 ) )



( 参考 ) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS ( Port Import/Export Reporting Service ) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. ( CTS 社 )
- 4.日中航路輸送量 ( トンベース ) : ( 公財 ) 日本海事センター企画研究部 ( 注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計 )
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 ( 往航では ( CI,Drewry ) と示した列、復航 ) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 ( 塩田 ) と米国東岸 ( ニューヨーク )、英国 ( フェリックストウ ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数( ( CFFI ) と示した列 ) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 ( 毎月 ) : 中国国際海運網ウェブサイト ( 中国・東南アジア間航路の運賃指数 ) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
  - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ ( 上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ( ( CFFI ) と示した列 ) ) :
  - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” ( 中国 ( 上海 ) と東京/横浜間の運賃 ) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI ( バルチック海運指数 ) :
  - ・ トランプデータサービス "World Maritime Analysis"
- 10.円ドルレート :
  - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>